

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成31年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
白老町	下水道事業	公共下水	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		○		○			

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等					
実施済		(実施類型) 汚水処理施設の統廃合	汚泥処理の共同化	(取組の概要及び効果) 昭和43年に供用開始し51年が経過したし尿処理施設の老朽化が著しいことから、下水処理施設との一元処理により汚水処理施設共同整備事業(MICS事業)として平成29年度から31年度まで3カ年で改築する。平成29年度は、MICS施設の実施設計、浄化槽汚泥等受入施設の建設工事実勢価格調査を実施した。平成30年度では、MICS施設の土木建築、電気機械設備工事を実施している。	(実施(予定)時期)	
実施予定	○	0	○		平成	32
		維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)		4	1
		0	0		年	月
					日	
検討中		(取組の概要)		(検討状況・課題)		

取組事項	民間活用(包括的民間委託)					
実施済		(取組の概要及び効果) 下水終末処理場、し尿処理施設、中継ポンプ場、マンホール内ポンプ所等の下水処理施設における運転管理、設備の保守点検、施設管理、環境計測、環境対策、物品の調達管理、修繕等について、包括的に業務委託している。			(実施(予定)時期)	
実施予定	○				平成	23
		((実施済のみ)性能発注内容) 同上			4	1
					年	月
					日	
検討中		(取組の概要)		(検討状況・課題)		